

令和7年度第2回中央区緑化推進委員会 議事概要

【開催日】

令和8年2月16日（月）

【出席者】

学識経験者：鈴木委員長、木下委員

区民・事業者代表：中島委員、岸本委員、吉山委員

区職員：生島委員、三留委員、早川委員

事務局：水とみどりの課

【配布資料】

- ・資料1 令和8年度 緑化・水辺関連予算（案）の概要
- ・資料2 緑の基本計画改定に向けた検討について
- ・資料3 令和8年度の中央区緑化推進委員会について
- ・資料4 桜川公園における Park-PFI（公募設置管理制度）について
- ・資料5 水とみどりのふれあいマップ（2校版）
- ・参考資料 令和7年度第1回中央区緑化推進委員会 議事概要

議事 令和8年度 緑化・水辺関連予算（案）の概要

	意見内容
鈴木委員長	<p>・浜町川緑道、浜町緑道と名称が異なる理由は。</p> <p>→（事務局）緑道は「浜町川緑道」、公衆便所は「浜町緑道内公衆便所」として管理している。緑道、公衆便所が完成した際は、名称を整理する予定。</p> <p>・水の都プロジェクトというのは、どのようなものか。</p> <p>→（事務局）水辺の活用構想を近年出しているが、それ以前に「中央区水辺利用の活性化に関する方策」（H18.3 中央区）において、「水の都中央区」の復活に向けた取組を推進しており、その取組を水の都プロジェクトと呼んできた。その取組から引き継がれている名称で、朝潮運河の遊歩道整備では、継続的にプロジェクト名として使用している。</p> <p>・次期、緑の基本計画において、様々な区内のプロジェクトを評価するような取り組みがあつていい。中央区は街路樹も非常に良いので、一連のまちづくりに関するプロジェクトで創出される緑を線形（リニア）につないでいくような考え方で出来るとよい。</p>
木下委員	<p>・あやめ第二公園は首都高の高架下というところだが、どのような改修を行うか。また、千代田公園はイラスト上では立体に見えるが、どのような形状か。</p> <p>→（事務局）もともとフェンスに囲まれた球技スペースがあり、老朽化が進んでいる。使用する団体からも人工芝のコートへの改修などの要望が出ている。高架下は、シティスポーツ（バスケットボールの3on3など）の需要が周辺からも出ており、スポーツパークのような形で地元のまちづくり団体と進めていく。</p> <p>→（事務局）千代田公園は立体都市公園制度を活用し、橋は公園橋を新設、隅田川と</p>

	意見内容
	千代田公園を立体的に結ぶような形。これまでは校庭と公園利用が一体化し、公園利用が制限されていたため、それを解消し、あわせて水辺との連続性を確保し、防災性の向上を図る計画としている。
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・浜町川緑道の整備は、(狭い中)大変だが、多様な花を咲かせる樹種が植えられたらよいのではと思う。フランスでは蜜源になる四季折々の花を植える取組がすすめられている。 →(事務局)現在の緑道は老朽化、違法駐車、桜の老木化などの課題もあり、拡幅した上で植栽も増やしてリニューアルしていきたい。樹木は現状あるものを活かしつつの整備を予定している。 ・築地川アメニティ整備構想による首都高上部の蓋掛けも中央区としては非常に大きな開発と言えると思う。首都高日本橋区間の地下化と併せて3.2kmが緑化されるのに加え、築地市場跡地の開発が行われると非常に大きな国際的にもインパクトのある開発になる。相当の面積が緑でおおわれると考えると、次期緑の基本計画にも載せていけると思う。
岸本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・築地川公園もスポーツが盛んな印象。こちらの整備はどのようなものか。 →(事務局)築地川公園多目的広場は、入船トンネルの利活用とも連携してスポーツ利用を含め検討している。 ・住人が区へ引っ越してきた早い段階で、ボランティア活動できる場所があることが大切である。何らかの形で、対策を重点的に検討するべき。

議事 緑の基本計画改定に向けた検討について

	意見内容
三留委員	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の緑の基本計画改定では、区の方で用意した項目での実態調査、計画策定の流れになるため2か年となるが、今回は新たな視点を取り入れて調査項目から検討していけないかという趣旨で3か年としている。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の基本計画として水辺の視点を入れていくと例えば水質なども気になる点である。 ・先日出席した荒川(河川)の学会で、「泳げる都市」という新たな概念が出た。世界でも水辺に首都が位置する国というのは、実は少なく、東京はそのうちの一つ。水辺で泳げるようなまちにするというのは非常に良い取り組みだと思う。 ・中央区では再開発も相当実施されており緑の取組の優良事例もたくさんあると思うが、そういったところを、取り上げていくことも必要。
木下委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都公園協会への寄稿で、「泳げる東京をグリーンインフラによって取り戻す」という論説を出したことがある。NYでは例えば合流式下水道の負荷をグリーンインフラにより低減し水質の改善を図るなどの取組みを行っている。これは中央区単体では難しいが、中央区が率先して取り組んでいける可能性はある。 ・鈴木委員長からもお話のあったリニア(線形)の緑という指摘は中央区では重要で、ウォークアブルの観点に加え、舟運、水上移動の観点も含めた移動のネットワークの視点が入れると面白い。 ・屋上緑化、壁面緑化の事後検証をきちんとやるべきで、そういったところに助成を出すというのにも必要。 →(事務局)グリーンインフラガイドラインに基づくチェックシートを出してもらっているのだから、そこから良い事例を抽出するというのも出来るかもしれない。
岸本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・HARUMI FRAGなどの新しい事例も緑の取組みとして非常に面白い。
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大丸有のまちづくりでは蜂蜜の花粉分析や八の字ダンスのA1解析などで蜜源植物

	意見内容
	<p>の位置や種類を分析し、そうした結果に基づいて蜜源の乏しい時期をハンギングバスケットで補うなどの取組みを大手町で実施している。そうした生物から学ぶ技術のようなものも取り入れられるとよい。</p> <p>→（事務局）国の方向性としても生物多様性、ネイチャーポジティブという面が強調されており、他の自治体の先導になるような事例ができるとうい。</p>

議事令和8年度の中央区緑化推進委員会について

	意見内容
鈴木委員長	・次年度の委員会構成及び実施内容について承諾。

議事 その他 桜川公園における Park-PFI（公募設置管理制度）について

	意見内容
中島委員	<p>・木材を多用するような方向になっているのは非常にいい方向性で、中央区の森の材の活用なども考えていけるとよい。ベンチ等もだが、公募対象公園施設（建築）についても建築面でもそうしたところを配慮してもらえるとよい。</p> <p>→（事務局）チップやベンチへの活用については既に検討を進めているところである。建築の細かい設えはまだ未定だが、事業者からの当初計画も森というコンセプトを生かしたい旨の意見は出ている。</p> <p>・桜川公園から亀島川をつなぐような案内標識などもあるとよい。</p> <p>→（事務局）亀島川は近いが屋上公園を挟むところもあり、公園・河川管理者側としてもしっかり繋いでいきたい。</p>
吉山委員	<p>・地元の意見というのはどういったところから出てきているのか。例えば子供の意見をどのように取り入れたのかとか、そういった部分を伺いたい。</p> <p>→（事務局）今回、設計段階から地元に入るといところで各町会のメンバーに入ってもらい、つむぎ会という名称で公園連絡会を設けたほか、周辺の公共施設や学校の先生へのヒアリングなども行っている。</p> <p>・地元の意見というのはどこか正解なのかというところが難しく、どの要望を取捨選択するかはどのように判断されているか。</p> <p>→（事務局）行政が責任を持って最終的な判断をするという部分は意識している。例えば今回複合遊具を減らしてウッドチップにするにあたっては、遊具は周辺にも似たような施設があるといところも判断材料にした。とにかく子どもが走り回れるスペースを、という要望を入れた形になっている。</p>

議事 その他 浜町川緑道改修工事について

	意見内容
木下委員	<p>・緑道の拡幅整備にあたっては道路用地から公園用地に変えているのか。</p> <p>→（事務局）道路はそのまま公園と重複する形にしており、交通管理者が協力的なのは、これまで周辺で違法駐車の問題があったことが非常に大きい。</p> <p>・近年の欧州のまちづくりでは車道を減らして公園にしてしまうようなことが非常に多いが、こうしたところが増えていくとよい。最近の卒論で江東区での利用実態調査において、動線として緑道を選ぶ理由としては、安全性や、緑陰があることなど</p>

	意見内容
	が評価されている。安全性の懸念もあるが、緑陰の維持のため、高木は、なるべく残したほうがよいのでは、と考えている。
中島委員	・地元は皆、浜町川緑道の改修を楽しみにしている。夏場はこれまで蚊の問題もあったが、風通しが良くなると非常に良い。また、名称については「浜町川緑道」が良いと思う。というのは緑道が浜町と人形町の境だからで、「浜町川」であれば両町会ともうまくいくのではないかと。

議事 その他 水とみどりのふれあいマップについて

	意見内容
岸本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・名所として挙がっている写真がほとんど花のものなので、樹木などもちょっと入れてもらえるとよい。区内で見られる鳥も実際はもっと種類があり、区内では水辺の鳥が特徴的なのでそちらも取り入れてほしい。ルートの色と川辺の色が重なっていて、見づらいと感じたところがある。 ・区内のマップは観光協会含めいろいろなところで作られている。歴史などはそちらでカバーしてもらい、今後は水とみどりに特化することを考えても良いのでは。 ・あかつき公園、坂本町公園などが周遊ルートから外れてしまっているので、いずれ、みんな繋がっていくようにできればよい。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・はな街道の活動も、ぜひ入れてほしい。 ・観光写真コンクールの素材などを活用するのも手だと思う。
木下委員	<ul style="list-style-type: none"> ・水の名所みたいなものもあるとよい。 ・中央区の橋は震災復興時を起源とするものが多く、そうしたインフラのファンなどもいるのではないかと。
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・築地が空白になってしまっているのはちょっと気になる。
吉山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区だと、水は海より運河というところになるため、眺望景観としては朝潮運河など対岸の景観が重要という部分がある。そうしたスポットなども表現できるとよい。
三留委員	<ul style="list-style-type: none"> ・（地図に入れる新しいスポットについては）たとえば2次元コードリンクなどで情報を拡張していくこともできると思う。こちらの改定は3年以内になるので、その際は印刷の方にも意見を取り入れられるとよい。